

四国自然史科学研究センター

設立10周年記念シンポジウム

四国の自然は、いま 2012

参加費
(懇親会以外)
無料

10年間で四国の自然について分かったことを伝えます

ポスター発表：15日10時～17時 16日9時～17時 共通教育2号館211番教室

苔やキノコ、珊瑚、鯨、ツキノワグマ、化石などなど発表多数！

懇親会：15日18時～20時 学生会館1階食堂（要 事前申し込み 12月10日まで）

参加費 一般3,000円 学生2,000円 高校生以下500円（当日参加は500円増し）

口頭発表：16日13時～16時 共通教育2号館210番教室

骨形態から見た四国のニホンザル—現生種と化石種の違いはあるのか？—
(西岡佑一郎：京都大学霊長類研究所)

四国のツキノワグマ—遺伝子からのアプローチ
(大西尚樹：森林総合研究所 東北支所)

遺伝子から見た四国産哺乳類の多様性：日本固有イタチ科の進化と外来種ハクビシンの由来
(増田隆一：北海道大学)

陸棲哺乳類の化学物質汚染：有機ハロゲン化合物および水酸化代謝物の暴露実態
(野見山 桂：愛媛大学沿岸環境科学研究センター)

-開催日-

平成24年12月15日(土)～16日(日)

-会場-

高知大学朝倉キャンパス(高知県高知市曙町)

-対象者-

四国の自然に興味をもつあらゆる人

12月15日は、当イベント会場となりの212講義室で13時より
四国生物多様性シンポジウムが開催されます。

「第2回 四国生物多様性会議 高知」 主催：四国生物多様性ネットワーク、国際自然保護連合日本委員会 (IUCN-J)

国家戦略である生物多様性地域戦略。この会議では高知県が着手した地域戦略づくりに貢献することを目的にします。

基調講演：「生物多様性の観点から—高知県のいいところ、わるいところ」 亀崎直樹氏

(神戸市立須磨海浜水族園園長、NPO法人日本ウミガメ協議会会長)

パネルディスカッション、グループワーキング (参加費無料)

主催：特定非営利活動法人四国自然史科学研究センター (問合せ先：0889-40-0840 yachimori@lutra.jp)

共催：土佐生物学会・高知大学・(特非)西条自然学校・(特非)徳島保全生物学会・香川生物学会

後援：環境省中国四国地方環境事務所・四国森林管理局・高知県・高知県教育委員会・愛媛県・香川県・徳島県・須崎市・須崎市教育委員会・越知町・越知町教育委員会・高知市・高知新聞社・RKC高知放送・KSSさんさんテレビ・KUTVテレビ高知・よさこいケーブルネット・愛媛新聞社・徳島新聞社・四国新聞社・朝日新聞社・FM高知・NHK高知放送局・(特非)環境の杜こうち・(特非)黒潮実感センター・(特非)日本ウミガメ協議会・(財)黒潮生物研究財団・四国生物多様性ネットワーク・愛媛自然誌研究会・公益財団法人高知県牧野記念財団・みんなで作る自然史博物館・香川・ネイチャー企画・魚と山の空間生態研究所・たかはし河川生物調査事務所・(株)東洋電化テクノリサーチ・(株)西日本科学技術研究所・東洋技研(株)・高知昆虫研究会・土佐植物研究会・桂浜水族館・日本野鳥の会高知支部・森林総合研究所四国支所・四国環境パートナーシップオフィス (順不同)